

将来の高山市のために考えませんか

公共施設の現状

市が保有している公共施設は、市役所本庁舎や各支所、小中学校、市営住宅といった建物のほか、市道や農道、林道、上下水道などのインフラ施設があります。

過去に建設された建物やインフラ施設は、これから大量に更新時期を迎える一方、進む人口減少により利用者需要が減少したり、施設を維持するために要する財源が減少していくことが予想されます。

このような背景のもと、公共施設の全体を把握し、長期的な視点に立った管理を進めるため、市では「公共施設等総合管理計画」を策定します。

そのために今号では、平成26年4月に策定した公共施設白書により、まず公共施設の現状などをお知らせします。



【公共施設の現状】

1. 建物

※維持管理費は、平成21年度から平成23年度にかけて各施設の維持管理に要した費用の平均

No.	分類名	施設数	面積 (㎡)	維持管理費 (百万円)
1	市民文化系施設	36	30,167	151
2	社会教育系施設	11	14,799	230
3	スポーツ・レクリエーション系施設	96	89,428	394
4	産業系施設	24	23,494	92
5	学校教育系施設	38	166,676	312
6	子育て支援施設	30	11,885	318
7	保健・福祉施設	41	26,235	290
8	医療施設	13	2,987	275
9	行政系施設	142	55,974	290
10	市営住宅	44	46,882	299
11	公園	79	3,241	74
12	供給処理施設	89	60,625	1,852
13	その他	53	9,968	57
合計		696	542,359	4,634

2. 社会基盤 (インフラ施設)

①市道・農道・林道

項目	市道	農道	林道
総延長(m)	1,850,886	306,600	598,001
総面積(㎡)	8,737,750	1,049,000	2,378,576

②橋りょう

項目	15m未満	15m以上	合計
本数(本)	643	301	944
総延長(m)			15,698

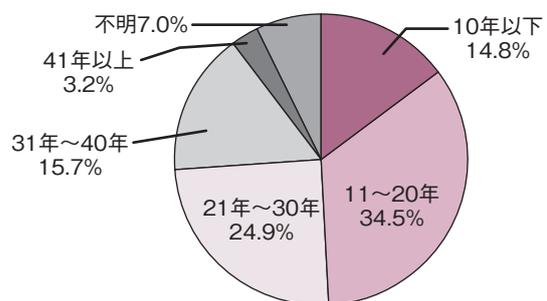
③上水道

上水道総延長 (m)	1,131,577
------------	-----------

④下水道

下水道総延長 (m)	753,157
------------	---------

【建物の築年別施設数割合】



公共施設の整備状況

1. 建物

・建物の公共施設数(平成25年4月現在)は、約700施設あります。

・施設分類別には、市役所や支所、消防署や消防団車庫などの行政系施設が142施設あり全体の約20%を、体育館などのスポーツ・レクリエーション系施設が96施設あり全体の約14%を、上下水道施設などの供給処理施設が89施設あり全体の約13%を占めています。

・また、築10年以下の施設が103施設(約15%)、築11年~20年が240施設

(約34%)、築21年~30年が173施設(約25%)、築31年~40年が109施設(約16%)、築41年以上(経過年数不明を含む)が71施設(約10%)となっており、多くの施設が改修時期を迎えている状況にあります。

2. 社会基盤 (インフラ施設)

①道路

・本市は、広大な市域を支える道路(市道・農道・林道)が長大かつ広大な延長・面積となっています。

・市道については、総延長約1,850.9km(平成25年4月現在)で、日本列島で見ると、北海道から九州までを横断する

②橋りょう

・本市が管理する橋りょうの本数は、944橋(平成25年4月現在)で、そのうち橋長が15m以上の橋は301橋あり、全体の約30%を占めています。

・橋りょうの多くは、1965年頃から1975年頃にかけて整備され、全体の約3分の1を占めています。

③上水道

・本市が管理する上水道の総延長は、1,131km(平成25年4月現在)で、そのう

ほどの距離を有しています。

・農道については、総延長約306.6km、林道については、総延長約598.0kmとなっています。

④下水道

・本市が管理する下水道の総延長は、753km(平成25年4月現在)で、そのうち塩化ビニール管が555kmあり、全体の約74%を占めています。

・下水道の多くは、1995年頃から2005年頃にかけて整備され、全体の約3分の2を占めています。

・本市の上水道の整備は、1950年頃から進められ、特に1975年頃からは、2004年頃にかけて多く整備されています。

・塩化ビニール管が633km、铸铁管が313kmとなっています。